

授業科目	子どもと環境 (A クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11304J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-2			
担当教員	末寄 雅美							
授業概要	<p>子どもたちの豊かな遊びと生活を支えるための保育環境の重要性を理論的に説明する。</p> <p>また、子どもが自立的に行動し、創造的な活動を展開するには、環境構成が不可欠であること、そして、その環境を構成するのは保育者の責務であることへの理解を促す。</p> <p>成績については、試験、提出物、授業態度により評価を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>まずは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」のねらいと内容について、理解できることを目指す。</p> <p>その上で、保育活動に必要な環境構成、物的環境・人的環境等の構成する要素について理解し、保育活動を展開する上での環境整備や工夫を意欲的に行う態度を身につける。</p> <p>さらに安全で安心できる環境について基本的なことを理解する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	0	0	30	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	30				30		60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10					30	40	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1)幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」のねらいと内容について、十分に理解できる。</p> <p>2)保育活動に必要な環境構成、物的環境・人的環境等の構成する要素について理解し、保育活動を展開する上での環境整備や工夫を、創造的かつ意欲的に行う態度を身につける。</p> <p>3)安全で安心できる環境について基本的なことを理解し、実践に生かすことができる。</p>				<p>1)幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」のねらいと内容について、用語や意味など基本的なことを理解できる。</p> <p>2)保育活動に必要な環境構成、物的環境・人的環境等の構成する要素があることを理解し、保育活動を展開する上での環境整備や工夫を行う意欲を身につける。</p> <p>3)安全で安心できる環境について基本的なことを理解する。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	乳幼児の特性と環境構成の重要性・環境とは何か・環境の諸側面(物的・人的環境)	講義	保育の5領域について、復習すること。	60
2	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」(1)領域「環境」のねらいについて	講義	予習:「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」(ピンクの資料)の「幼稚園教育要領」部分の「環境」を読んでおくこと。 復習:プリントとノートを整理する。ワークシート(1)を記入する。	60
3	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」(2)領域「環境」のねらいについて	講義	予習:「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」(ピンクの資料)の「幼稚園教育要領」部分の「環境」を読んでおくこと。 復習:プリントとノートを整理する。ワークシート(2)を作成する。	60
4	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」(3)領域「環境」のねらいについて	講義	予習:「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」(ピンクの資料)の「保育所保育指針」の「乳児保育」「1歳以上3歳未満児」部分の「環境」を読んでおくこと。 復習:プリントとノートを整理する。ワークシート(3)を作成する。	60
5	子どもの遊びと環境構成・遊びの素材と道具と空間	講義	予習:指定された図書資料を読む。 復習:プリントとノートを整理する。	60
6	園庭・園外の環境と保育の内容	講義	予習:指定された図書資料を読む。 復習:プリントとノートを整理する。ワークシート(4)を作成する。	60
7	子どもの安全を守る環境・危機管理	講義	予習:指定された図書資料を読む。 復習:プリントとノートを整理する。ワークシート(5)を作成する。	60
8	まとめ・試験	講義・試験	予習:これまでの授業内容を振り返り、質問等を準備しておく。試験勉強を行っておく。 復習:試験問題の振り返り。	180
9				
10				

11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育の 5 領域についてまずは理解し、保育における遊びの重要性と環境の関係について理解しましょう。			
テキスト	「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(濃いピンクの資料)を毎回持参して下さい。 また、入学時に購入した「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」は自宅で予習・復習するときに、活用して下さい。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	高山静子著『改訂「環境構成の理論と実践」保育の専門性に基づいて』郁洋舎 2021 瀧薫『保育とおもちゃー発達の道すじにそったおもちゃの選び方』エイデル出版社 2018 (上記の書籍は、指定図書として図書館にあります)			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>(授業以外の学習方法)ワークシート作成の課題を中心に自宅学習を行ってください。また、図書館の指定図書も読んでみましょう。</p> <p>(学生へのメッセージ)皆さんは保育を学び始めたばかりで分からないことも多いと思います。他の授業と関連して、保育に関する基本的な用語なども覚えつつ、自分なりに「考える」態度を持って授業に臨んで下さい。分からないことは気軽に質問してください。</p>
達成度評価に関するコメント	<p>授業内でワークシート作成の課題を出すので、きちんと〆切までに提出しましょう。</p> <p>授業の最後に、試験を行います。毎回の予習復習を怠らずに、試験に備えてください。</p> <p>授業態度は、発言や質問など授業への積極的な参加の姿勢を評価します。居眠りや私語等は減点します。</p>